

令和4年度オンラインアンケート 調査結果
「災害時の情報伝達手段に関するアンケート調査」

【目的】

松江市は、災害時の緊急情報を複数の手段で配信することで、より多くの市民へ情報伝達が可能であると考えております。

引き続き、災害時の情報発信をより多くの市民へ、きめ細かく伝達することができるように、市民の皆様の災害情報入手手段や利用状況を調査し、今後の災害情報発信に役立てる目的で行うものです。ご協力をお願いいたします。

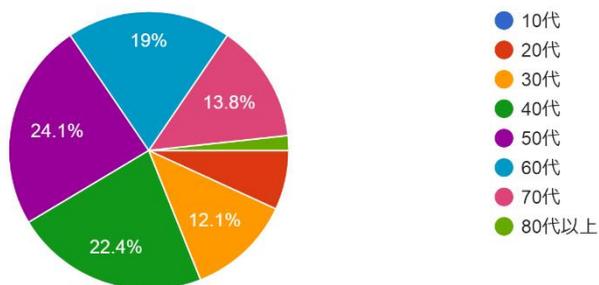
【調査期間】 令和4年12月23日（金）～令和5年1月13日（金）

【回答者数】 n = 58

「災害時の情報伝達手段」に関するアンケート

Q1 あなたの年代を教えてください。

58件の回答



【担当課コメント】回答者のうち10代の回答者がなく、20代も約1割となったため、今後は、20代以下の市民のニーズを把握できるようなアンケートを実施する必要がある。

Q2 あなたのお住まいの地区（公民館区）について教えてください。

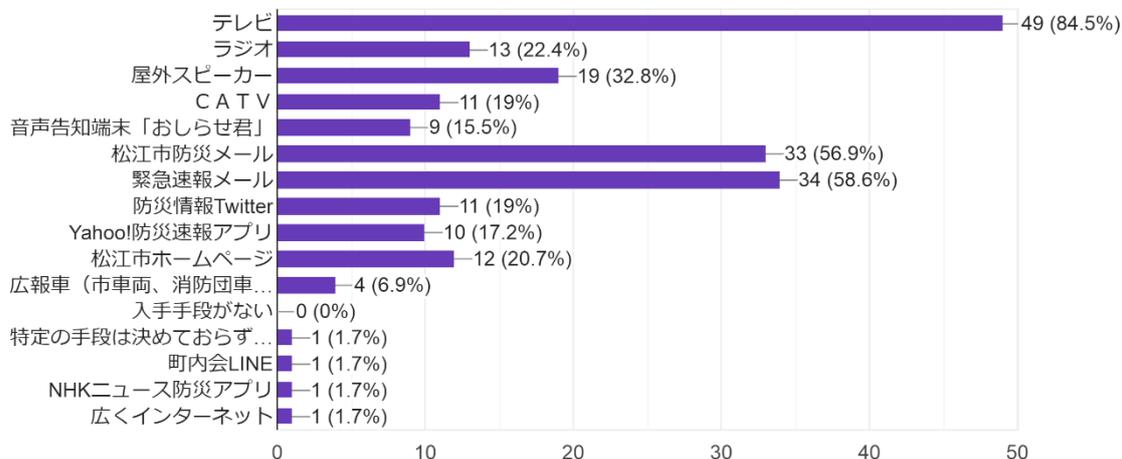
57件の回答



〔担当課コメント〕半数以上の公民館区から回答を得ることができたが、各地区のニーズを把握するためには、回答総数を増やす必要がある。今後実施される松江市まちづくりのための市民アンケートを活用し、市民ニーズの把握をしていく。

Q3 災害時の情報はどの手段で入手されるか教えてください。【複数選択可】

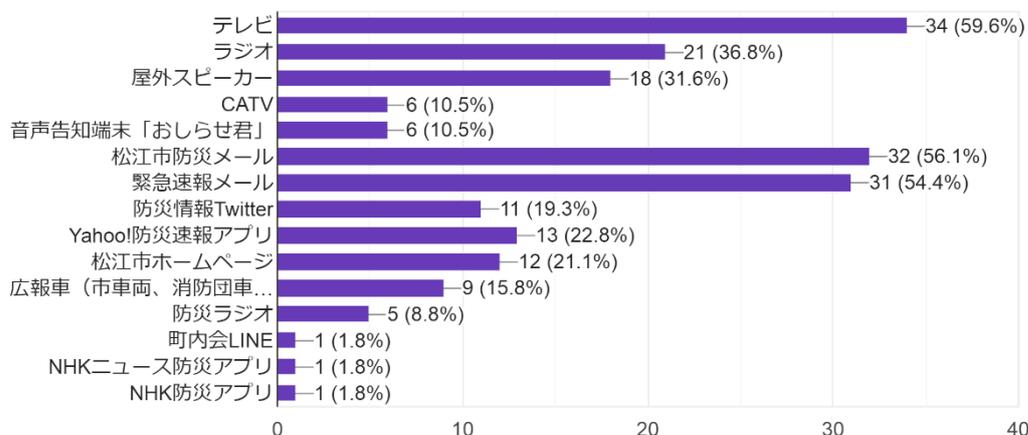
58件の回答



〔担当課コメント〕災害時の情報入手手段として最も多かったのはテレビであり、次いで緊急速報メール、松江市防災メールが上位を占める結果となった。テレビは映像だけでなく、音声や文字情報としても伝達が可能であり、情報の受け手にとってわかりやすいことから非常に重要な情報収集手段として認識されている。

Q4 災害時の情報入手手段で、有効と思われるものを教えてください。【複数選択可】

57件の回答



【担当課コメント】災害時の有効な情報入手手段は、テレビ、松江市防災メール、緊急速報メールが上位を占める結果となった。令和3年の通信利用動向調査では、個人のインターネット利用機器でスマートフォンが最も多く、今後も幅広い年齢層でスマートフォンが普及していくと予測されている。緊急速報メールと松江市防災メールが有効な災害情報入手手段の上位を占めていることから、災害情報を個人のスマートフォンから入手している市民が多く、ニーズとしても高いということが思慮される。

文字情報を伝達する松江市防災メールだけでなく、強制的に通知を行う Twitter や Yahoo!防災速報アプリなどの周知も実施し、災害時の情報発信をより多くの市民へ、きめ細かく伝達することができるようにしていく必要がある。